

作成日：2016年 3月31日

改訂日：2019年 2月 5日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名

会社名

住所

担当部門

担当者(作成者)

電話番号

FAX番号

緊急連絡電話番号

お問い合わせ先

推奨用途(使用上の制限)

整理番号

RP剤 ANタイプ

三菱ガス化学(株)

東京都千代田区丸の内2-5-2

特殊機能材カンパニー

脱酸素剤事業部

03-3283-4842

03-3287-1785

03-3283-4842

<https://www.mgc.co.jp/inquiry/products/ageless/>

脱酸素剤

1-01-1201-1



2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物

可燃性/引火性ガス

エアゾール

支燃性/酸化性ガス

高压ガス

引火性液体

可燃性固体

自己反応性化学品

自然発火性液体

自然発火性固体

自己発熱性化学品

水反応可燃性化学品

酸化性液体

酸化性固体

有機過酸化物

金属腐食性物質

健康に対する有害性

急性毒性(経口)

急性毒性(経皮)

急性毒性(吸入:気体)

急性毒性(吸入:蒸気)

急性毒性(吸入:粉じん)

急性毒性(吸入:ミスト)

皮膚腐食性/刺激性

眼に対する重篤な

損傷性/眼刺激性

呼吸器感作性

皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性

(単回ばく露)

特定標的臓器毒性

(反復ばく露)

吸引性呼吸器有害性

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)

水生環境有害性(長期間)

オゾン層への有害性

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

(小袋が破袋した場合)

分類対象外

分類対象外

分類対象外

分類対象外

分類対象外

分類対象外

分類できない

分類できない

分類対象外

区分外

区分外

分類できない

分類対象外

分類できない

分類対象外

分類できない

区分外

分類できない

分類対象外

分類対象外

分類できない

分類対象外

区分外

区分1

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

区分1(呼吸器)

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない



注意喚起語 危険有害性情報	危険
注意書き	・重篤な眼の損傷 ・呼吸器の障害
[予防策]	使用前に本安全データシート(SDS)に記載された全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。 ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 ・粉じんを吸入しないこと。 ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 ・取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
[対応]	・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移すこと。医師に連絡すること。 ・皮膚に付着した場合:多量の水で十分に洗うこと。医師に連絡すること。 ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 ・飲み込んだ場合:水で口中を良く洗浄すること。医師に連絡すること。 ・ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
[保管]	・施錠して保管すること。 ・直射日光を避け、30℃以下の場所に保管すること。
[廃棄]	・内容物/容器を廃掃法などの法規制に従って廃棄すること。
3. 組成及び成分情報	(内容物について)
化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	R P 剤 A Nタイプ
別名	
成分名	(Ⅰ) 焼成珪藻土 (Ⅱ) 酸化カルシウム (Ⅲ) 炭化水素化合物 (Ⅳ) 樹脂粉末
化学特性(化学式等)	(Ⅰ) 主成分はSiO ₂ (Ⅱ) CaO (Ⅲ) 非公開 (Ⅳ) 非公開
CAS番号	(Ⅰ) 91053-39-3 (Ⅱ) 1305-78-8 (Ⅲ) 非公開 (Ⅳ) 非公開
濃度又は濃度範囲(含有量)	(Ⅰ) 焼成珪藻土 10～40% (Ⅱ) 酸化カルシウム 30～40% (Ⅲ) 炭化水素化合物 5～20% (Ⅳ) 樹脂粉末 10～30%
官報公示整理番号	化審法: (Ⅰ) 非該当、(Ⅱ) (1)-189、(Ⅲ) 有り、(Ⅳ) 有り 安衛法: (Ⅰ) 非該当、(Ⅱ)～(Ⅳ) (公表)
TSCA登録	(Ⅰ)～(Ⅳ):有り
EINECS番号	(Ⅰ) 293-303-4、(Ⅱ) 215-138-9、(Ⅲ) 非公開、(Ⅳ) 非公開
DSL(NDSL)登録	(Ⅰ)～(Ⅳ):有り
4. 応急措置	(内容物について)
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	多量の水で十分に洗うこと。医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口中を良く洗浄すること。医師に連絡すること。

- ばく露又は
ばく露の懸念がある場合
最も重要な徴候及び症状
- 医師に連絡すること。
眼に対する刺激、痛み。
5. 火災時の措置
消火剤
使ってはならない消火剤
特定の消火方法
消火を行う者の保護
- 粉末、炭酸ガス、霧状水、泡
特になし
周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器及び周辺に散水して冷却する。
消火作業の際は、適切な保護具を身に付ける。
6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び
浄化の方法・機材
二次災害の防止策
- (内容物が漏出した場合)
防じんマスク、手袋、保護眼鏡などの適切な保護具を着用し、作業する。
環境中への廃棄は避けること。
破袋して内容物が飛散した場合は、できるだけ掃き取って空容器に回収し、その後多量の水で洗い流す。その際、濃厚な排水が直接河川に排出されないように注意する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い
技術的対策
(局所排気・全体換気等)
安全取扱い注意事項
(接触回避を含む)
衛生対策
保管
安全な保管条件
安全な容器包装材料
- 特に必要としない。
使用前に本安全データシート(SDS)に記載された全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
製品を開封しないこと。破袋した製品の内容物を吸入しないこと。
内容物に触れた際には、飲食または喫煙をしないこと。
内容物取扱い後は手/顔/眼をよく洗うこと。
施錠して保管すること。
直射日光を避け、30℃以下の場所に保管すること。
火の近くを避け、布、紙等の可燃物と離して保管する。
保管の為に特別な容器を用いる必要は無い。但し、性能劣化を防止する為ガスバリア性の高い包装材料を使用する。
8. ばく露防止及び保護措置
許容濃度
保護具
呼吸器用の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体への保護具
- (内容物について)
日産衛('18年版) : 第一種粉じん 0.5mg/m³(珪藻土: 吸入性粉じん)
2.0mg/m³(珪藻土: 総粉じん)
ACGIH('18年版) : TLV-TWA 0.025mg/m³(吸入性結晶質シリカとして)
TLV-TWA 2mg/m³(酸化カルシウム)
(内容物を取扱う場合)
防じんマスク
手袋
保護眼鏡、保護面
作業衣、安全帽、安全靴
9. 物理的及び化学的性質
外観(物理的状態、形状、色)
臭い(及び臭いの閾値)
pH
融点/凝固点
沸点、初留点と沸騰範囲
引火点
自然発火温度(発火点)
燃焼又は爆発範囲の上限/下限
蒸気圧
比重(密度)
溶解性
n-オクタノール/水分配係数
分解温度
- (内容物について)
灰白色粉末
なし
知見なし
2,580℃(酸化カルシウム)
2,850℃(酸化カルシウム)
231℃以上(樹脂粉末)
知見なし
知見なし
知見なし
0.45~0.65g/ml
0.14g/100ml水(25℃)(酸化カルシウム)
知見なし
知見なし

10. 安定性及び反応性
 反応性・安定性
 危険有害反応可能性
 避けるべき条件
 混触危険物質
 危険有害な分解生成物
- (内容物について)
 空気中の酸素と反応し、発熱する。
 空気中の水分と反応し、水酸化カルシウムを生成する。
 過酸化水素等の酸化性物質と接触すると、激しく反応する。
 水と接触すると激しく反応し、多量の熱を放出する。
 酸類と激しく反応する。
 水との接触、過熱。
 水、酸化性物質、酸。
 特になし。
11. 有害性情報
 急性毒性
- 経口LD₅₀ : >4528mg/kg (計算値)
 (焼成珪藻土;珪藻土(未焼成) 資料引用 >5000mg/kg *1)、酸化カルシウム5000mg/kg *2)、等から混合物として算出。急性毒性不明分0.05%)
- 皮膚腐食性/刺激性
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
 呼吸器感作性
 皮膚感作性
 生殖細胞変異原性(変異原性)
 発がん性
 生殖毒性
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)
 吸引性呼吸器有害性
- (内容物について)
 区分1の酸化カルシウムを含有する類似品について「軽度の刺激性ありP.I.I.=1.0(区分外)」*3)であるため、類似品と比較して酸化カルシウム含有量の低い本製品についても区分外とした。
 含有する酸化カルシウムは、厚生労働省・環境省がGHS分類マニュアル(H25年度改訂版(ver. 1.1))に基づいて実施したGHS分類で眼に対する重篤な損傷/眼刺激性区分1に分類されている。*2)酸化カルシウムの含有率から、本製品の眼に対する重篤な損傷/眼刺激性のGHS分類を区分1とした。
 知見なし
 知見なし
 知見なし
 珪藻土(未焼成)は、厚生労働省・経済産業省・環境省が政府向けGHS分類ガイダンス(H25年度改訂版(ver. 1.1))に基づいて実施したGHS分類で、発がん性が区分1Aに分類されている。*1)焼成珪藻土を評価したデータは無いが、結晶性シリカを同程度含有するため、珪藻土(未焼成)と同等の発がん性に分類されるものと推測される。しかしながら本製品は、小袋を密封したまま使用されており、シリカを反復ばく露しないことから、発がん性について分類できないとした。
 知見なし
 含有する酸化カルシウムが厚生労働省・環境省がGHS分類マニュアル(H25年度改訂版(ver. 1.1))に基づいて実施したGHS分類で特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分1(呼吸器)に分類されている。*2)酸化カルシウムの含有率から、本製品の特定標的臓器毒性(単回ばく露)のGHS分類を区分1(呼吸器)とした。
 珪藻土(未焼成)は、厚生労働省・経済産業省・環境省が政府向けGHS分類ガイダンス(H25年度改訂版(ver. 1.1))に基づいて実施したGHS分類で、特定標的臓器毒性(反復ばく露)区分1(呼吸器)に分類されている。*1)焼成珪藻土を評価したデータは無いが、結晶性シリカを同程度含有するため、珪藻土(未焼成)と同等の特定標的臓器毒性(反復ばく露)に分類されるものと推測される。しかしながら本製品は小袋に包装された状態で市販されており、使用上内容物に反復ばく露しないことから、判断から除いた。
 一方、含有する酸化カルシウムは、厚生労働省・環境省がGHS分類マニュアル(H25年度改訂版(ver. 1.1))に基づいて実施したGHS分類で特定標的臓器毒性(反復ばく露)区分1(呼吸器)に分類されている。*2)しかしながら本製品は、密封されて使用されるため、内容物に単回ばく露することは有り得るが、反復ばく露することは想定出来ないため、分類できないとした。
 知見なし
12. 環境影響情報
 生態毒性
 残留性/分解性
 生体蓄積性
 土壤中の移動性
 オゾン層への有害性
- 知見なし
 知見なし
 知見なし
 知見なし
 知見なし(各成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない)

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物
- 内容物/容器を廃掃法などの法規制に従って廃棄すること。
廃棄する際、RP剤の小袋を破らないこと。
未使用又は残存能力のあるRP剤を廃棄する場合は以下のように処分する。
他のゴミと区分して、穴のあいていないポリ袋に集め、ポリ袋の口を縛る等して水がかからないようにして、そのまま焼却する。
燃えやすい布や紙切れ等の可燃物と同じポリ袋に入れないこと。
多量に集めると発熱する可能性があるため、ポリ袋あたり500g程度を限度とする。
RP剤を集めたポリ袋等は、熱がこもらないようにし、他の塵と離して保管すること。
廃棄するRP剤は、火の近くや直射日光等、高温になる場所で保管しないこと。
汚染容器・包装 付着物を除去後、処分する。洗浄廃液は残余廃棄物と同様の処理を行う。
14. 輸送上の注意
国際規制
- 国連分類 : 非該当 *3) *4)
国連番号 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
- 国内規制
- 陸上輸送 危険物に該当せず。
海上輸送 危険物に該当せず。
航空輸送 危険物に該当せず。
- 輸送の特定の安全対策
及び条件 シート掛け等により雨水に濡れないようにする。運搬に際しては容器に漏れない事を確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- 緊急時応急措置指針番号 非該当
15. 適用法令
安衛法(労働安全衛生法)
- (密封された本製品は適用除外；内容物への適用)
: 法57条 表示対象物質(シリカ(焼成珪藻土)、酸化カルシウム)
法57条の2 通知対象物質(シリカ(焼成珪藻土)、酸化カルシウム)
安衛則第594条、皮膚障害物に該当(酸化カルシウム)
- その他、毒物及び劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法、消防法、船舶安全法、航空法の適用はない。
16. その他の情報
文献
- *1) (独)製品評価技術基盤機構(NITE)HP化学物質管理センターHP
GHS分類対象物質一覧(ID:H27-A-041/C-112A_P)
*2) (独)製品評価技術基盤機構(NITE)化学物質管理センターHP
GHS分類対象物質一覧(ID:H28-B-011, C-014B)
*3) 当社新潟研究所試験結果(PIT-1309)
*4) Corrosion Testing Laboratories, INC (発行日:2006/12/8)
Reference No:23100
- 記載対象について 本安全データシートには、小袋の内容物に関する情報について記載しております。
- 記載内容の取扱い
記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
また、GHS分類は国内の基準に従った分類であり、海外での基準に従った分類とは一部で異なる場合があります。